

新専門医制度における県内の 研修基幹施設と各研修プログラム

平成30年度から新たな専門医の仕組みによる専門研修がスタートしました。

専門医は、基本領域学会専門医と、より専門性の高いサブスペシャリティ学会専門医の2段階制ですが、山形県内では、現在、19基本領域（内科、皮膚科、外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、麻酔科、小児科、精神科、整形外科、眼科、泌尿器科、放射線科、救急科、リハビリテーション科、形成外科、病理、臨床検査、総合診療科）のうち、臨床検査を除く18領域の専門研修プログラムがあります。

以下に、山形県内の研修基幹施設と各研修プログラムをまとめてご紹介します。

国立大学法人 山形大学医学部附属病院

〒990-9585 山形市飯田西2-2-2
<http://www.id.yamagata-u.ac.jp/>

- 病院長：土谷 順彦
- 病床数：637【一般：601／精神：36】
- 医師数：372
- 診療科目：内、精、循、小、外、整、脳、心、皮、泌、産、婦、眼、耳、放、歯口、麻、形、リ、病、救



●病院の概要

独自の専門医養成プログラム

大学院は、教育病院であると共に最先端医療技術の発信基地でもあります。卒後臨床研修修了後の専門医取得に必要な高度先進医療の研修は、大学院が最も得意とするところ。山形大学では各診療科が専門医に要求される研修内容に対応して緻密に組まれた独自の専門医養成プログラムを有しています。もちろん、専門分野の教育においても大学院での教育とともに、市中病院での経験が重要なとは言ってもありません。

また、県内外の主要な教育病院及び山形県と合同で組織する「蔵王協議会」という組織があり、この組織により大学附属病院と関連病院が有機的に結びついた研修が可能で、我が国の医学部で最初に導入した大学院社会人選抜枠を最大限に利用することにより、市中病院に勤務しながら大学院生として専門医取得のための研修や博士号取得のための研究が行える数少ない大学です。

●専門研修プログラム

- 山形大学医学部附属病院内科専門医研修プログラム
- 山形大学医学部附属病院小児科研修医（専攻医）研修プログラム
- 山形大学医学部皮膚科研修プログラム
- 精神科領域専門医研修プログラム
- 山形大学外科専門医研修プログラム
- 山形大学整形外科専門医研修プログラム
- 山形大学産婦人科専門医研修施設群専門医研修プログラム
- 山形大学医学部附属病院眼科専門医研修プログラム
- 山形大学医学部附属病院耳鼻咽喉科専門医研修プログラム
- 山形大学医学部泌尿器科専門医研修プログラム
- 脳神経外科専門医研修 山形大学医学部プログラム
- 山形大学医学部附属病院放射線科専門医研修プログラム
- 山形大学医学部附属病院麻酔科専門医研修プログラム
- 山形県・山形大学医学部病理専門医研修プログラム
- やまがた未来志向型救急医養成専門医研修プログラム
- 山形大学医学部附属病院形成外科専門医研修プログラム
- 山形県リハビリテーション科専門医研修プログラム
- 山形大学医学部附属病院総合診療専門医研修プログラム

山形県立中央病院

〒990-2292 山形市大字青柳1800番地
<https://www.ypch.gr.jp/index.html>

- 病院長：武田 弘明
- 病床数：609【一般：607／感染症：2】
- 医師数：195
- 診療科目：内、呼内、血内、糖内、腎内、心内、精、脳内、消内、循内、感内、腫内、小、新内、外、整、形、脳外、呼外、心外、消外、乳外、小外、皮、泌、産婦、眼、頭耳、放、歯口、麻、病理、救、疼緩



●病院の概要

当院は、がん・生活習慣病センターと救命救急センターとを付置した総合医療センターで、一般病棟512床の他、CCU・SCU：6床、ICU：8床等の集中治療部門、総合周産期母子医療センターや緩和ケア病棟等の特色ある施設を合わせもち、全609床となっています。

診療科は31科を有し、各科の診療内容は一次医療から高度な知識・技術・経験を必要とする三次医療まで広い範囲を担っています。エイズ治療拠点病院、基幹災害医療センター、第1種感染症指定病院等多くの機能を担当する他、都道府県がん診療連携拠点病院、総合周産期母子医療センター等の各種の指定を受けております。また、平成24年11月から運用を開始した山形県ドクターヘリの基地病院に指定されているとともに、平成28年度から、本院の強みを活かした3つの診療センターを導入しており、より高度な医療を要する症例を、数多く経験することが可能となっています。

●専門研修プログラム

- 山形県立中央病院内科専門医研修プログラム
- 山形県立中央病院外科専門医研修プログラム
- 山形県立中央病院麻酔科専門医研修プログラム
- 山形県立中央病院救急科専門医研修プログラム

山形市立病院済生館

〒990-8533 山形市七日町一丁目3番26号
<http://www.saiseikan.jp/>

- 病院長：貞弘 光明
- 病床数：528【一般：528】
- 医師数：85
- 診療科目：内、消、呼、循、糖・内泌、腎、血、精、神内、小、皮、放、外、整、脳外、脳放、リハ、泌、産婦、眼、耳、形成、麻、歯、歯口、救、病理



●病院の概要

当院の基本理念は、「生命の尊厳と人間愛を基本として、皆さんの健康を守るため、保健・福祉と連携し、地域基幹病院としての使命を果たします」と謳っております。この基本理念を基に「1. 患者さんの権利を尊重し、相互の信頼関係を大切にします」「2. 病院機能の充実と職員の資質を高め、医療水準の向上に努めます」「3. 市立病院として健全経営を図り、良質な医療を提供します」「4. 地域医療との連携を深め、役割分担を図りながら患者さんが安心して医療を受けられるよう努めます」の4点を病院の基本方針としています。

また、当院の性格として市民のあらゆるニーズに応えることが義務付けられています。日常の診療では紹介患者さんを中心とした診療を、救急診療では1・2次救急患者の受入れを積極的に行っていますので、各科担当指導医のもと専門性の高いより実践に即した研修を行うことができます。

●専門研修プログラム

- 山形市立病院済生館内科専門医研修プログラム

社会福祉法人恩賜財団済生会 山形済生病院

〒990-8545 山形市沖町79-1
<http://www.ameria.org/>

- 病院長：石井 政次
- 病床数：459【一般：459】
- 医師数：69
- 診療科目：内・神内・呼内・消内・循内・糖内・腎内・血内・リウ・小・外・乳外・整外・形外・脳外・呼外・心外・皮・泌・産婦・眼・耳・リハ・放・麻・精



●病院の概要

山形県唯一の公的医療機関として、済生会設立の本旨である無料低額診療などの福祉医療をはじめ、村山2次医療圏の中核的病院として高度・急性期医療を中心に地域医療を担う他、バングラデシュの病院への医療支援を通じて国際協力にも力を注いでいる。1999年には県内で2番目の病院として日本医療機能評価機構の施設認定を受け、2019年には、3rdG:Ver.2.0の認定を受けた。「患者さん中心の医療の実践」を基本方針として掲げ、「トータルケアの考えに基づいた疾病予防、治療、在宅医療まで継続した医療の提供」、「チーム医療の充実を図り診療機能と患者サービスの向上を目指す」、「地域における医療の質向上のため、他の医療機関と協力し臨床教育の実践を図る」ことを中長期の目標として職員一同研鑽に励んでいる。予防医学では人間ドック、脳ドックはもとより、生活習慣病患者が利用する健康増進センターを付設、がんの早期発見に寄与するPET/CT装置を備えたPET/CTセンターを開設、健診のみならず病病、病診連携に大きな貢献を果たしており、県民医療のレベルアップにつながっているものと考えている。

●専門研修プログラム

- 済生会山形済生病院整形外科専門研修プログラム

山形県立河北病院

〒999-3511 西村山郡河北町谷地字月山堂111
<https://kahoku-hospital.jp/>

- 病院長：森野 一真
- 病床数：136【一般：130 / 感染症：6】
- 医師数：22
- 診療科目：内、総診、消内、神内、小、外、乳外、整、脳、皮、泌、産婦、眼、耳、放、麻



●病院の概要

昭和22年に日本医療団谷地病院として発足、その後昭和39年4月に山形県立河北病院に改称し、西村山地域の基幹病院として「信頼される医療の提供」を基本理念に掲げて、日々まい進しています。

総合診療においては、初診から各専門の診療科や関係機関へ速やかにつながるなどの横の連携を取りながら、患者さんにとって最もためになる医療を提供しています。

また、緩和ケア科においては、患者さん・ご家族に対し、それぞれが抱えるつらさや痛みを出来るだけ和らげ、患者さんがこれから「どこで」「どのように」生活していきたいかを一緒に考え支援しています。

その他、救急医療、急性期医療、地域包括ケア、在宅医療など多様な医療機能を持ち、地域連携の拠点としてのHub機能を有する地域密着型病院として、総合的な医療を提供しています。

●専門研修プログラム

- 山形県立河北病院総合診療専門研修プログラム

社会医療法人松柏会 至誠堂総合病院

〒990-0045 山形市桜町7番44号
<http://www.shiseido-hp.jp/>

- 病院長：小林 真司
- 病床数：230
【一般：50 / 回復期リハ：60 / 障害者：60 / 地域包括ケア：60】
- 医師数：18（常勤換算）
- 診療科目：内、呼内、消内、循内、糖内、脳神内、外、整、皮、婦、眼、耳、リハ、放、リウ、緩和ケ



●病院の概要

当院は、山形市の中心部に位置し明治36年創立、今年で119年を迎える非常に歴史ある病院です。法人内には、3つの診療所、介護老人保健施設（29床）、訪問サービス（看護・リハビリ・介護）の他、サービス付高齢者向け住宅（20戸）等の事業所を併せ持ち、医療から介護、急性期医療から在宅療養支援まで地域に密着した事業を展開しています。その施設群を活用しての地域医療の担い手としての医師養成に努めています。

当院の特徴としては、呼吸器・糖尿病等の慢性疾患の治療と療養指導に特に力を入れ、患者会を組織しています。また近年は、リハビリテーション機能を強化し、在宅への復帰を支援するための人材養成、施設整備を図ってきました。地域の第一線において、基礎的な臨床診断力とともに、保健や介護・福祉とも連携した総合的な医療ニーズに対応できる医師を目指す研修を提供致します。また、当院では、室料差額を徴収せず、無差別・平等の医療を提供しています。医局は各科の垣根が低く、他科の医師に診療に関わることから悩みごとまで、気軽に相談しやすい雰囲気があります。各職種とのコミュニケーションも取りやすく、アットホームな環境です。

●専門研修プログラム

- さくらんぼ総合診療専門研修プログラム

山形県立新庄病院

〒996-0025 新庄市若葉町12-55
<http://www.ysh.pref.yamagata.jp/>

- 病院長：八戸 茂美
- 病床数：454【一般：452 / 感染症：2】
- 医師数：49
- 診療科目：内、総診、消内、脳神内、循内、呼内、血内、腫内、小、外、乳外、整、形成、脳、皮、泌、産婦、眼、耳、放、麻、救



●病院の概要

- ・山形県最上2次保健医療圏唯一の中核病院です。
- ・救急告示病院として、地域のほとんどの救急患者が搬送されます。（年間の救急患者は9,900人、うち救急車による搬送が2,500人）
- ・へき地医療拠点病院として、地域の町立病院、町・村立診療所と連携して地域医療を支えています。
- ・山形大学や東北大学など東北地域の大学医学部との交流を活発に行っています。

●専門研修プログラム

- 山形県立新庄病院総合診療専門医研修プログラム

公立置賜総合病院

〒992-0601 東置賜郡川西町大字西大塚2000番地
<http://www.okitama-hp.or.jp/>

- 病院長：林 雅弘
- 病床数：496 [一般：426 / 救急：20 / 感染症：4 / 精神：46]
- 医師数：101
- 診療科目：内、精、神内、消内、循内、小、外、消外、呼外、整、脳外、心外、皮、泌、産婦、眼、耳、リハ、放、歯口、麻、形、救



●病院の概要

当院は、山形県の南3分の1を占める置賜地域の高度医療を担う拠点として、隣接する二市二町（長井市・南陽市・川西町・飯豊町）と山形県を構成団体とする中核病院です。長井市・南陽市・川西町に位置するサテライト医療施設が初期医療や回復期医療を担い、救命救急センター、へき地拠点病院、地域がん診療連携拠点病院等の指定を受ける当院が高度医療を担っております。

総合診療科においては、幅広い疾患に対する初診を中心とした外来診療、専門各科にまたがる問題を持つ患者に対する病棟診療、救急科と連携した初期救急とそれに続く入院管理などを提供しています。内科においては、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、神経内科、代謝内分泌科、腎臓内科を持ち、地域への専門医療を提供しています。小児科においては、乳幼児健診、予防接種、幅広い外来診療、病棟診療を提供しています。救急科においては、重度外傷への救急医療からER救急まで幅広い救急医療を提供しています。

●専門研修プログラム

- 公立置賜総合病院総合診療専門研修プログラム

鶴岡協立病院

〒997-0816 鶴岡市文園町9-34
<http://y-mcoop.com/hospital/>

- 病院長：堀内 隆三
- 病床数：199
- 医師数：15
- 診療科目：内、小、外、整、心外、皮、泌、産婦、リハ、透析、病理、歯



●病院の概要

鶴岡協立病院はベッド数199床、1日約200名の患者様が来院する一般病院として、急性期及び慢性維持期の疾病の治療を担っています。また、介護や保健予防活動、医療制度や社会保障の改善にも力を入れている病院です。

医療分野のみにとどまらず、医療生活協同組合のネットワークを活用して、介護分野でのデイケアや訪問看護、保健予防では健診・人間ドック、さらにはメディカルフィットネスでの健康づくりなど総合的なサービスを提供し、皆様の命と健康を守っていきたくと考えております。

また、安心して医療にかかりたいという住民要求の実現と、地域住民の皆様や開業医の皆様、そしてより多くの医療従事者の力をお借りしながら「いつまでも住み続けられる町」の実現を目指しています。

●専門研修プログラム

- 鶴岡協立病院総合診療専門研修プログラム

日本海総合病院

〒998-8501 酒田市あきほ町30番地
<http://www.nihonkai-hos.jp/hospital/>

- 病院長：橋爪 英二
- 病床数：630 [一般：626 / 感染症：4]
- 医師数：163
- 診療科目：内、循内、消内、内視鏡内、精、神内、小、緩和ケア内、外、乳外、小外、整、形、リハ、脳外、心外、呼外、皮、泌、産婦、眼、耳、放、麻、救、歯口、病理



●病院の概要

平成20年4月、山形県立日本海病院と酒田市立酒田病院を統合再編し、急性期医療を担う「日本海総合病院」としてスタートした。平成23年4月屋上ヘリポートを備えた救命救急センターの運用を開始、平成24年6月庄内地域初のPET/CTを導入した。また、平成25年8月にハイブリッド手術室の稼動を開始し、平成27年2月にはDMATカーを配備した。さらに、令和元年5月には庄内地域で初めて手術支援ロボット「ダヴィンチ」の運用を開始しており、地域医療の向上を図っている。

●専門研修プログラム

- 日本海総合病院内科専門研修プログラム
- 日本海総合病院産婦人科研修プログラム
- 日本海総合病院外科専門研修プログラム
- 日本海総合病院麻酔科専門研修プログラム

山形県立こころの医療センター

〒997-8510 鶴岡市北茅原町13-1
<http://cocorohosp-yamagata.jp/>

- 病院長：神田 秀人
- 病床数：213
- 医師数：16
- 診療科目：精神科、心療内科、児童・思春期精神科



●病院の概要

平成27年3月山形県立鶴岡病院から「山形県立こころの医療センター」にリニューアルオープンしました。

365日24時間体制で救急事例を受け入れるスーパー救急病棟、院内学級を併設し医療と教育の融合を目指した児童思春期病棟、重大犯罪を犯した精神障がい者を多職種チームで治療する医療観察法病棟、個室中心でアメニティーの高いストレス病棟といった専門性の高い入院病棟と共に、デイケアや訪問看護チームが活発に活動しています。

医局は新しいドクターが続々と増え、医師数もH29：10名→R5：16名となりました。若いドクターが多く、自由でとても良い雰囲気です。

我々と“こころひとつに”未来の精神医療を切り拓く、気概のある若いチカラを募集しています！

●専門研修プログラム

- 山形県立こころの医療センター専門研修プログラム